

## 5回生 必修科目「世界史A」授業のシラバス

教科名	地理歴史	科目名	世界史A	単位数	2単位
科目の目標	○近世以前の諸地域世界の特質をつかんだ上で、大航海時代を背景にアジア世界とヨーロッパ世界が接触や交流・進出を深め世界が一体化に向かい始める状況を概略的に把握させる。また、近現代史以降一体化がさらに進んでゆく状況を、わが国と関連付けながら歴史的に理解させ、あわせて人類の今後の課題について具体的に考察させる。				
教科書	要説世界史（山川出版社）		副教材	詳説世界史図録（山川出版社）、 要説世界史ノート（山川出版社）	

### 1 学習の目標

- (1) 日本史との関連や日本とのつながりに着目しながら、諸地域・国家・民族ごとの生活・文化の特色、時代ごとの政治・経済の移り変わりやグローバル化・国際社会の展開などへの考察を深め、幅広い知識と教養を身に付ける。
- (2) 日々の授業を通して「問い」への追究を発展させていくとともに、知識を活用したり、関連付けたりすることで、現代の諸課題につながる歴史的背景への考察を深め、自分なりの考えをまとめたり、説明したり議論したりする思考力・判断力・表現力を養う。
- (3) 歴史を学ぶ意義を模索し、主体的に粘り強く学び続ける態度を養う。

### 2 学習の方法

- (1) 授業について
  - 講義形式ばかりもよくないですし、かといって調べ学習や話し合いばかりに終始しても成就感が味わえるものではありません。「説明を聞く（書く）場面」「自分たちで学ぶ場面」どちらにも主体的な姿勢で、「なぜ？」などと常に疑問や批判的精神をもちながら意欲的に学ぶことが大切です。ただ聞いているだけでなく、積極的にメモを取ったり、自分で「まとめノート」を作成したりするなどすると、より理解や思考力が深まります。思考力・表現力は、ある程度の知識を基盤としないかぎり高まっていくものではありません。「知識・技能」と「思考・判断・表現」を両輪として考えてください。
  - 考察・構想したり、歴史的思考力や表現力を養ったりするために、次に示す「歴史的な見方・考え方」（例）を意識してください。
    - ◆時期・推移 … どのような「変化」がみられたか、どの時代にはどのような特色があったか
    - ◆比較 … AとBを比較してみて、どのような「共通点」や「相違点」があるか、そのことは何を意味しているか
    - ◆因果関係 … なぜか（背景・原因）、どのような影響をもたらしたか、どのような相互関係がみられたか
- (2) 復習について
  - まずは知識の習得が大切です。教科書や資料集を熟読すること（積極的にメモを書いたり、マークしたりする）、問題演習などを通してこつこつと何度も繰り返し復習（アウトプット）することが大切です。地道な努力を要します。
  - とはいえ「用語」を覚えるだけでは調査や模擬試験で良い成果は得られません。用語の意味について理解したり、大きな時代の展開を捉えて説明したり、様々な資料（文字史料、文化作品）についてのポイントがおさえられるように学習しましょう。
  - 知識の確認や復習を促すために「小テスト」を実施します。定期調査では、知識だけでなく思考力を問うものなどまんべんなく出題します。
  - 好きか嫌いか、受験科目であるか否かによって著しく手を抜いたり、授業中に他教科の学習をしたりすることは認めません。

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
② 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し表現する。
③ 資料活用 の技能	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。
④ 知識・理解	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）※4つの観点を日頃の授業や調査等から総合的に評価します。

観点	評価材料											
	定期 調査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ート	ワー ク シ ー ツ	討 議	態 度	
① 関心・意欲・態度	◎		◎		○		◎		◎	○	○	
② 思考・判断・表現	◎		◎		○		◎		◎	○	○	
③ 資料活用 の技能	◎		◎				◎		◎			
④ 知識・理解	◎		◎				○		○			

### ■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くないやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合えることができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	世界史へのいざない① 日本列島のなかの世界の歴史—言語・文字と歴史	日本語や日本文化の中に見られる諸外国との歴史的関わりを気づかせ、地理的環境が歴史に与える影響を沖縄を例に考えさせることで、世界史を見る目を養う。	①日本語や日本文化と諸外国との関わりや、地理的環境が歴史に与える影響について、意欲的に考えようとしている。②日本語や日本文化に見られる諸外国の歴史的影響・沖縄の歴史の中に見られる地理的環境の影響などを多角的に考察している。③日本語や日本文化と諸外国との関わりに関する資料や、地理的環境と沖縄の歴史との関わりを示す資料を適切に活用している。④日本語や日本文化の中に見られる中国など諸外国の影響や、沖縄の歴史に地理的環境の影響が見られることを理解し、歴史を多角的に考察している。	※小テストなどは適宜行います。	ABCD FM
	世界史へのいざない② 地理的環境と歴史・文化—沖縄と海	東アジア世界の特質や歴史の展開を中国を軸に把握させ、日本の歴史にも目を向けて、歴史的動向を理解させる。	①東アジア世界の特色について関心を持ち、周辺地域との関連や日本の歴史を意欲的に学習している。②近代以前の東アジア世界について、中国を軸に日本や周辺諸国を含め多角的に考察している。③近世以前の東アジア世界の特質や国際関係に関する資料を収集し、適切に活用している。④中国を軸とした東アジア世界の政治的特色、文化の共通性、その中における日本の歴史についての知識を身につけている。		
	第Ⅰ部 一体化する世界 第1章 諸地域世界の特質 ①東アジア世界	インドおよび東南アジア世界の形成の状況や特質を把握させる。	①インド・東南アジア世界の歴史的特色や文化などを意欲的に学習している。②インド・東南アジア世界の文化や歴史の多様性について多角的に考察している。③近代南・東南アジア世界の宗教・言語などの資料を収集し、適切に活用している。④近代南・東南アジア世界の歴史や、宗教など文化の多面性を理解している。		
	②南アジア・東南アジア世界	古代オリエント文明からイスラーム世界文明にかけての西アジア世界の特質を理解させる。	①古代オリエント文明やイスラーム世界の歴史や文化などを意欲的に学習している。②古代オリエント文明やイスラーム世界の歴史や文化的特色、宗教について多角的に考察している。③古代オリエント文明やイスラーム世界などの資料を収集し、適切に活用している。④古代オリエント文明の流れや、宗教を軸としたイスラーム世界の特色などを理解している。	ABCD	
	③西アジア世界	古代地中海世界および中世ヨーロッパ世界の歴史的特色や文化を理解させる。	①古代地中海世界や中世ヨーロッパの歴史や文化を意欲的に学習している。②古代地中海世界がヨーロッパの基層文化を形成したことや、中世への歴史の展開を多角的に考察している。③古代地中海世界や中世ヨーロッパ文化、キリスト教に関する資料を収集し、適切に活用している。④古代地中海世界の歴史や文化、ヘレニズム文化の影響、中世ヨーロッパの展開などを理解している。		
	④ヨーロッパ世界②	海域世界や内陸世界の通商や文化交流を軸に、相互の関連性を理解させる。	①海域・内陸世界の接触や交流について関心を持ち、意欲的に学習しようとする。②諸地域ごとの歴史や文化を理解し、地域間相互の交流を空間的に把握している。③地図を適切に用い、海域世界や内陸世界の空間的位置づけを説明できる。④海域や内陸世界の接触や交流を具体的に理解し、地理的状況を理解している。		ABCD
5	⑤陸と海の交流	モンゴル帝国拡大や明の対外政策、ムスリム商人の活躍などを軸に、大航海時代前後の世界を理解させる。	①モンゴル帝国、イスラーム世界の展開などによる世界の交流を意欲的に学習しようとする。②大航海時代直にすでに東西交流が進んでいた状況について、多角的に考察している。③地図を適切に用い、大航海時代前の13～15世紀における東西交流を説明できる。④大航海時代前の13～15世紀における東西交流の展開を空間的に把握し、理解している。	1学期中間考查	ABCD
	第2章 大航海時代 ①モンゴル帝国の形成と解体	16世紀以降、諸地域世界が新たな展開を始め、世界の一体化へと向かう端緒となったことを理解させる。	①大航海時代における世界の結びつきに関心を高め、意欲的に学習している。②新航路の開拓や新たな地域への進出がもたらした影響を判断・考察している。③大航海の展開や、その影響に関する地図や資料を収集し、適切に活用している。④大航海の展開や、その影響について具体的に理解している。		
	②世界の一体化の始まり	オスマン帝国・ティムール朝とサファヴィー朝・ムガル帝国の展開について理解させる。	①オスマン帝国・ティムール朝とサファヴィー朝・ムガル帝国の展開について意欲的に学習している。②オスマン帝国・ティムール朝とサファヴィー朝・ムガル帝国などの宗教政策、民族構造などを多角的に考察している。③地図や資料を収集し、イスラーム諸王朝の空間的展開や政治・文化の接触・交流を判断している。④宗教を軸としたイスラーム専制国家の状況について具体的に理解している。		
	③近世の日本と世界③	明・清時代の中国の発展と、周辺地域の動向を把握させる。	①近代以前の東アジアの繁栄について関心を高め、意欲的に学習しようとする。②中国の専制王朝を中心とした東・東南アジア世界の結びつきを考察している。③明や清、朝鮮の政治・文化に関する資料を収集し、適切に活用している。④明・清時代の中国の繁栄と、朝貢体制の特色について理解している。	ABCD ABCD FM	
6	第4章 近世ヨーロッパの成長 ①16世紀の西ヨーロッパ ②17～18世紀の西ヨーロッパ③	日本の統一状況や、世界の一体化と日本歴史との関わりについて理解させる。 ルネサンス・宗教改革の、ヨーロッパにおける展開と影響を把握させる。 17～18世紀、オランダ・フランス・イギリスの商業・軍事上の覇権の掌握の状況や、啓蒙思想を軸に、西ヨーロッパを理解させる。	①世界の一体化に日本が果たした役割について、意欲的に学習しようとする。②日本銀の産出や海外流通が世界の一体化に影響を与えたことを判断している。③物産流通についての資料や日本の対外政策に関する資料を収集し活用している。④世界の一体化に日本が果たした役割について、具体的に理解している。 ①ルネサンス・宗教改革がヨーロッパ世界に与えた影響について関心を高めている。②ルネサンスや宗教改革の展開や影響を具体的に考察し、その意義を判断している。③ルネサンスや宗教改革に関する資料を収集し、適切に活用している。④ルネサンスや宗教改革の展開や影響、意義を理解している。 ①オランダ商業・フランス絶対王政・イギリス革命を軸に、ヨーロッパの歴史の展開に関心を高めている。②オランダ・フランス・イギリスが商業・絶対王政・革命を背景に国力を強化する状況を判断している。③17～18世紀におけるオランダ・フランス・イギリスの歴史展開や啓蒙思想に関する資料を活用している。④17～18世紀にかけて、オランダ・フランス・イギリスが順に覇権を握ってゆく状況を理解している。	1学期中間考查	ABCD
	③16～18世紀の東ヨーロッパ	16～18世紀の東ヨーロッパを、オーストリア・プロイセン・ロシア帝国を軸に理解させる。	①オーストリア・プロイセン・ロシアの政治の展開や啓蒙専制について、意欲的に学習しようとする。②ドイツの分裂とオーストリア・プロイセンの状況、ロシアの歴史展開の特徴を多角的に考察している。③東ヨーロッパの啓蒙専制・ウェストファリア条約の内容などに関する資料を適切に活用している。④17～18世紀の東ヨーロッパ諸国の歴史展開の特徴について、具体的に理解している。		

7	④西欧を中心とする世界の一体化	ヨーロッパ諸国の世界進出を大まかに把握させ、貿易などを軸とする世界の一体化の状況を理解させる。	①世界商業の展開の中におけるユーラシアの繁栄・アメリカの従属・アジアの変化に関心を高めている。②銀の流通が世界の一体性に大きな役割を果たした事や、諸地域の歴史の展開を多面的に考察している。③世界商業の状況を表したグラフ等の資料や、地図などを収集し、適切に活用している。④ヨーロッパを中心に世界の一体化が進んでいく状況を具体的に理解している。	ABCD
	第5章 近代の欧米社会			
	①イギリス産業革命	イギリス産業革命の背景・展開・影響について理解させる	①産業革命の展開、人類の生活の変化について、意欲的に学習しようとする。②産業革命勃興に必要な条件や、産業革命の影響について多面的に考察している。③産業革命に関する資料を収集し、適切に活用している。④産業革命の展開や歴史に与えた影響について、具体的に理解している。	
	②アメリカ独立革命	アメリカ独立革命の背景・展開・意義について理解させる。	①13植民地と本国との経済的対立や、独立宣言の意義に関心を高めている。②啓蒙思想を盛り込んだ独立宣言や合衆国憲法の意義を多面的に考察している。③独立宣言などアメリカ独立革命に関わる資料を、適切に活用している。④アメリカ独立革命の意義を、フランス革命とも結びつけ、理解している。	
	③フランス革命(2)	フランス革命からナポレオン時代にかけてのフランス史の展開を理解させる。	①フランス革命の背景・展開、続くナポレオン時代の状況に関心を高めている。②啓蒙思想を背景に持つ、大西洋革命の一環としての性格も考察している。③人権宣言や複数の憲法、ナポレオン法典などの資料を適切に活用している。④フランス革命の意義を、以後の世界史の展開と関連付けて理解している。	
	④反動と改革(2)	ウィーン体制の成立と、それに対する19世紀前半の抵抗運動を理解させる。	①ヨーロッパの伝統的秩序を基本としたウィーン体制と、それに対立する動きに関心を高めている。②フルジョフの成長やナショナリズムの台頭について考察し、その影響を判断している。③古典主義やロマン主義に関して、絵画などを適切に活用している。④自由主義やナショナリズムの展開と19世紀社会の変化を理解している。	
8	⑤ナショナリズムの時代(2)	ウィーン体制崩壊後の19世紀後半のヨーロッパ社会の展開を理解させる。	①1848年のウィーン体制崩壊後のヨーロッパ社会の再編について、意欲的に学習しようとする。②19世紀後半は産業資本主義が拡大し、国民としての統合が進んだ時代であったことを考察している。③産業資本主義の発展や国民国家の確立などの資料を、適切に活用している。④19世紀後半のヨーロッパ社会の特徴を、多面的に理解している。	ABCD ABCD ABCDEF
	⑥南北アメリカの道	ラテンアメリカ諸国の独立と、合衆国の発展について理解させる。	①ラテンアメリカの独立や、合衆国の再編を意欲的に学習している。②ラテンアメリカの独立や、合衆国の再編を、大西洋革命や産業の発展と結び付けて考察している。③アメリカ大陸の地図や奴隷解放宣言などの資料を、適切に活用している。④19世紀における南北アメリカ大陸再編の動きを、ヨーロッパ社会と関連付けて多面的に理解している。	
	第6章 ヨーロッパの進出とアジア	ヨーロッパの進出による世界の一体化が、一方でアジアの従属化や変革をもたらしたことを、地域ごとに理解させる	①オスマン帝国の弱体化を背景に生じた東方問題や、イスラーム世界の再編に関心を高めている。②ヨーロッパや西アジアにおける紛争や抵抗運動などを、オスマン帝国と関連付けながら考察している。③オスマン帝国の弱体化や改革運動、イスラーム世界やヨーロッパの動きに関する資料を活用している。④19世紀を軸とした西アジア世界の変化と、ヨーロッパの動きを多面的に理解している。	
	①バルカン・西アジア社会の動き(2)			
	②インド・東南アジアの植民地化	インド・東南アジアの、ヨーロッパ諸国による植民地化の状況を理解させる。	①インド・東南アジアが植民地化されていく過程に関心を高めている。②ヨーロッパ諸国の進出の背景や、植民地をめぐる対立や衝突も考察している。③ヨーロッパ諸国のインド・東南アジア進出に関する資料を活用している。④ヨーロッパ諸国の進出と東南アジアの従属化の状況を多面的に理解している。	
	③東アジアの変動(2)	列強諸国の中国進出の状況を理解させる。	①列強諸国の中国進出の状況や中国国内の動きを、意欲的に学習している。②日清戦争での清の敗北を東アジア国際情勢変化の転機として考察している。③東アジアへの列強諸国の進出に関する資料を、適切に活用している。④列強進出と、東アジアの状況、中国の改革運動などを多面的に理解している。	
9	④世界史のなかの近代日本	日本の開国や改革運動の展開について理解させる。	①日本の開国や、列強と結んだ不平等条約について意欲的に学習している。②開国後の日本の国内・対外政策を、日本の富国強兵策と関連付けて判断できる。③日本の近代化の動きに関する資料を収集し、適切に活用している。④幕末から開国期の日本の対内・対外政策などを多面的に理解している。	1学期期末 未考査 ABCD
	第II部 現代世界と日本			
	第7章 現代社会の特徴			
	①高度資本主義と大衆社会	20世紀の社会的特色を概観させ、文化や国民のあり方について考えさせる。	①20世紀の社会的特色に関心を高め、現代世界について意欲的に学習している。②20世紀の社会の特色を具体的に考察し、その意義を判断している。③20世紀の大衆社会に関する資料を収集し、適切に活用している。④20世紀の世界が大衆社会として成立していったことを理解している。	
	②民主主義と国民国家	普選選挙の実現による民主主義の進展と人口の移動について理解させる。	①民主主義の進展がどのように行われたか、意欲的に学習している。②民主主義の進展や人口が移動した背景について考察している。③人口の移動に関する資料を適切に活用している。④民主主義の進展や人口の移動がどのように行われ、どのような影響があったかを理解している。	
	第8章 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代の社会的特色を把握させ、アフリカを含め、地球規模で植民地化が進んでいたことを理解させる。	①帝国主義時代の特色について関心を高め、その矛盾について意欲的に学習している。②帝国主義時代の特色と社会的矛盾について多角的に考察し、客観的に判断している。③博物館や美術館などの資料を適切に活用している。④帝国主義時代の欧米諸国の動向やその社会的特色を理解している。	
10	①欧米による世界の分割と植民地化(2)			ABCD ABCDEF
	②民族運動と列強の対立(3)	アジアの植民地化と抵抗運動について理解させる。	①アフリカの植民地化について関心を高め、意欲的に学習している。②アフリカ諸民族の抵抗運動について多角的に考察している。③アフリカの抵抗運動に関する資料を収集し、適切に活用している。④アフリカの抵抗と植民地化について理解し、知識を身につけている。	
	第9章 二つの世界大戦			
①第一次世界大戦とロシア革命(3)	ヨーロッパの国際関係を中心に第一次世界大戦が起きた背景や戦争中の社会の変化を理解させる。	①アジアの植民地化について関心を高め、意欲的に学習している。②アジア諸民族の抵抗運動について多角的に考察している。③アジアの抵抗運動に関する資料を収集し、適切に活用している。④アジアの抵抗と植民地化について理解し、知識を身につけている。 ①第一次世界大戦が人類社会に未曾有の犠牲をもたらしたことに関心を高め、その原因と現状について意欲的に学習している。②第一次世界大戦の原因について考察し、連合国が勝利した理由について判断している。③第一次世界大戦に関する写真やデータなどを収集し、適切に活用している。	ABCD	

